




カブトブはうす




～酷暑の夏にカブトムシ探しはできるのか～

実際の森林内を再現した空間をテント内や空き教室に製作し、カブトムシやクワガタが生息している場所。実際に直接触れる。

昆虫の生態を学び、子どもたちが酷暑の夏でも外出せずに自然の中で体験が可能になるのがカブトブはうすです。



暑すぎて虫取り
できないよ～

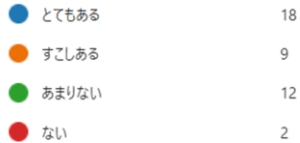


涼しいところで
できたらいいね～

小学生にアンケートで聞いてみました(小学生61人+先生方)

4. 自然に興味(きょうみ)や関心(かんしん)がありますか(0点数)

詳細



回答

身近な自然の状況や仕組みを知ること、環境を保護することにつながると思います。また、生き物や植物の成長や工夫に大きな感動をもらうことができるからです。

色々な生き物などがいて楽しいからです。

自然が好きだから

虫には色々面白い特徴があるから。

虫はあまり好きではないけれど、森や川など自然がいっぱいなのが好きだからです。

カブトムシをようちゅうからそだてみたい

8. 環境のために取り組んでいることはありますか(0点数)

詳細

インサイト



回答

小学校の先生方や子供たちが喜んでいただける機会を与えていただけて、本当に感謝しています。ありがとうございます。

ここまで育てていただきありがとうございました。大切に育てます。

元気に育っていて、子どもたちも喜んでいきます。

カブトムシとあしひこをようちゅうからみた
い。

カブと虫のようちゅうをそだてて見たい

先生方からの
感想も…

調査結果の分析

- 小学生は自然への興味や関心が高いことが分かり、カブトムシはうすは暑さや有毒害虫の心配をせずに自然体験ができるのではと考えた。
- 2年間アンケートを継続して行っているが、カブトムシを育ててみたいと思っている子どもたちが多くことに驚いた。
- 先生にアンケートをしてみると、子どもたちが本当に喜んでいることが実感できた。



具体的な目標と課題の解決

目標

- ・自然と関わりを持ってもらう
- ・テレビやネットの世界と違い、実際に触れて昆虫の生態や環境問題に関心を持ってもらう

自然と触れ合うことで学べること

- ・生きものの命の大切さを知る
- ・自然への愛着をもてる
- ・リフレッシュできる
- ・五感を使って体験できる

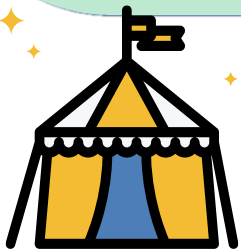
課題の解決策

- ・生きものとふれあう場の創出
- ・安心して自然体験できる場の提供
それを解決するためのイベントが

「カブトブはうす」です

カブトムシに注目した理由

- ・昆虫は幅広い世代から根強い人気がある
特にカブトムシは子どもが人気がある
- ・見た目がカッコいいから憧れがある
- ・落ち葉や木の枝を分解し、様々な技術に生かせると注目されている



酷暑の夏にカブトムシを探せるのか

カブトムシを探すには…

- ・場 所 地域の森林や雑木林
- ・期 間 6月中旬～8月中旬
- ・時間帯 17時～22時ぐらい
- ・その他

夜間は保護者同伴

気温が高く熱中症の危険大

有毒のハチやヘビがいるかも

解決策はカブトブはうすです

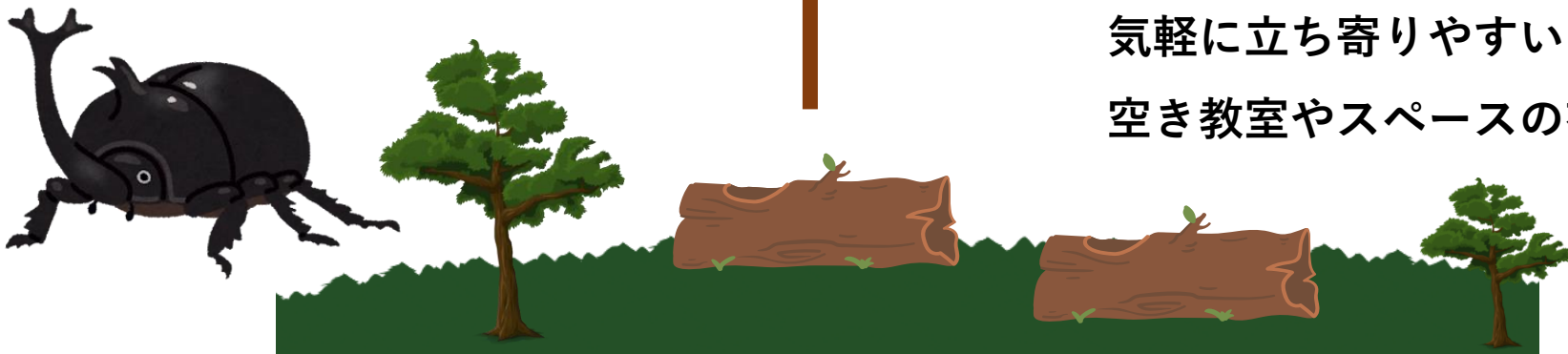
- ・場 所 学校の空き教室
商業施設の空きテナント
- ・期 間 夏休み（7月下旬～8月末）
- ・費 用 小学生以下無料
子育て応援デーも検討
- ・その他

冷房があり熱中症対策可能

有毒植物の危険がない

気軽に立ち寄りやすい

空き教室やスペースの有効利用に



教室内にカブトブはうす

少子化によって「カブトブはうす」教室が使えると考え、地域の小中学校の空き教室を有効活用する。

期間:夏休み期間中(週3日程度)
費用:無料

イベントを開催するなら…

- ・ふれ合い体験コーナー
- ・自由研究サポート
- ・カブトムシ相撲大会

課題

- ・コバエや匂いの発生
- ・エサや腐葉土マットの交換

商業施設にカブトブはうす

商業施設に親子連れが多く利用するため自然と触れ合う機会をつくれると考えた。

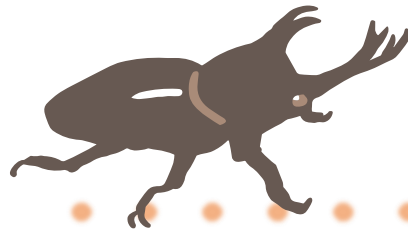
期間:夏休み期間(ただし限定的)
費用:300円(昆虫ゼリー付)

イベントを開催するなら…

- ・全国カブトムシ相撲大会(賞品つき)
- ・巨大カブトムシ対決(幼虫配布者のみ)
- ・ふれ合い体験

課題

- ・衛生面(コバエやゴキブリ対策)
- ・賃貸料や広告費



甲虫王者決定戦開催…！！